

**令和3年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和3年12月
海老名市立柏ヶ谷中学校**

令和3年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

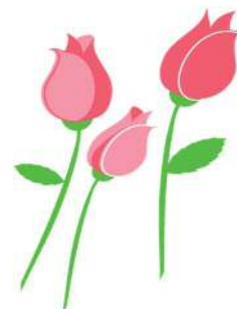
調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

令和3年5月27日(木)



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。
- ・質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。
- ・話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるかどうかをみる。
- ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる。
- ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫をすることができるかどうかをみる。
- ・文脈の中における語句の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。
- ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解しているかどうかをみる。
- ・文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかをみる。
- ・事象や行為などを表す多様な語句について理解しているかどうかをみる。
- ・相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるかどうかをみる。
- ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 話し合いにおける話題や内容、または発言者の意図を踏まえて、自分が話す内容を考えることができます。
- 意見文において、文章構成を工夫しながら、自分の考えを書くことができます。
- 登場人物の言動の意味を考えつつ、その言動に内在する心情をも捉えて、作品内容を理解することができます。

◆課題のある点

- 相手や場に応じた敬語を、適切に取捨選択して使うことに課題が見られます。
- 文脈の流れに即した語句の意味を捉えることに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「文脈の中における語句の意味を理解する」ことに課題が見られたので、グループワークを活用した学習場面を多く取り入れ、話し合い活動における適切な言語の使い方の習熟に努めます。
- 相手や時と場合に応じた敬語を適切に使うことができるよう、実践に即した敬語学習の工夫を推進めます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・整式の加法と減法の計算ができるかどうかをみる。
- ・具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができるかどうかをみる。
- ・扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解しているかどうかをみる。
- ・関数の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・与えられたデータから中央値を求めることができるかどうかをみる。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・相対度数の必要性和意味を理解しているかどうかをみる。
- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。
- ・平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解しているかどうかをみる。
- ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 整式の加法と減法の計算ができています。
- 扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解することができています。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができています。

◆課題のある点

- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られたため、グループワークやペアワークを通じてお互いの考えを深め合う活動を授業に取り入れます。
- 数と式、図形においては良い結果が見られたため、生徒間の教え合いを取り入れた授業を継続していきます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「1, 2年生で受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より10%以上も上回っています。課題解決に対するコミュニケーション力の高さは、各教科での「話し合いを主とした学習活動」の成果だと考えます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の生徒と意見交換をしたり、調べたりするために、どの程度使用していますか」に、「月1回未満」と回答した生徒の割合が、全国や県平均の2倍となっています。今後は、一人一台端末の活用の推進が不可欠だと考えます。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した生徒の割合が、96.3%と高く、全国や県の値より高くなっています。また、「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」にも「当てはまる」と回答した生徒が全国や県よりも高い値を示しています。このことから、本校の生徒は、友人や仲間思いやりをもって接していることが見とれました。本校の「他者の痛みを理解する心、他者を思いやる心を育む」という教育努力目標が、達成できているものと考えます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より約9%下回っています。人間関係づくりの場面では、相手の立場を鑑みながらも、自分の意見を適切に主張する力の育成が課題だと思われます。
- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合が、5.5%と全国平均の半分にも届きませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しても、もう少し地域との連携やコミュニティ活動を深めていく必要があるものと考えます。

今後の具体的な取組について

- 継続的に、各教科や各領域での「話し合い活動」の拡充に取り組むとともに、思考力、判断力、表現力のさらなる育成と主体的な取り組み姿勢の伸長を目指します。
- 日々の学習から、計画的に学習する習慣が身につくための課題設定(宿題等の家庭学習を含む)や取組を充実させ、定期試験前には、早期に試験範囲表を提示し、生徒自らが「学習計画表」を作成できる環境を整えます。
- 将来の夢や目標を設定できるよう、また実現できるように、日常生活と進路を結びつけながら、中学校3年間を見通しての「キャリア教育」を系統的に学習していきます。
- 「自立」「共生」「豊かな心」の三本柱を具現化するため、生徒が充実感や満足感が得られるような、自治活動(行事、生徒会活動、部活動等)の取組を充実させていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

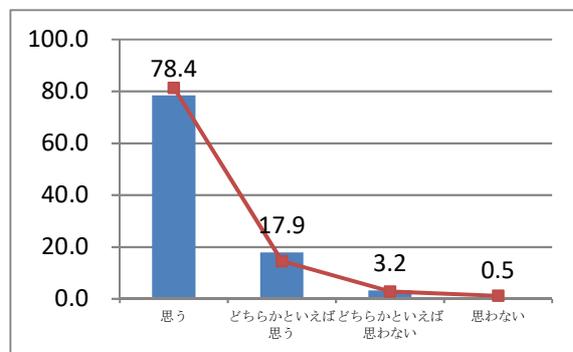
令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

棒グラフ・・・柏ヶ谷中学校 折れ線グラフ・・・全国

1

友人や仲間の良さを認め合いましょう。

人の個性や価値観はさまざまです。他者の良さをお互いに認め合って、思いやりをもって、接するようにしましょう。

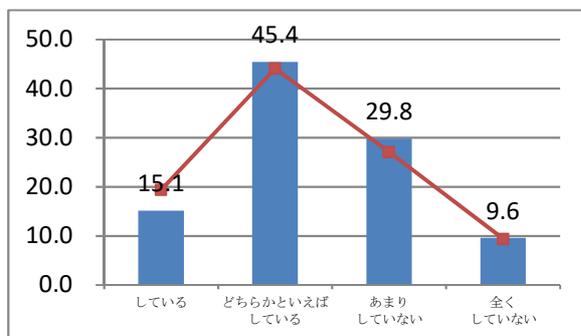


いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか

2

計画的に学習する習慣を身につけましょう。

将来に夢の実現に向けて、努力を重ねていくことは大切です。人生設計を考える上でも、常日頃から、計画的に学習する習慣を身につけましょう。

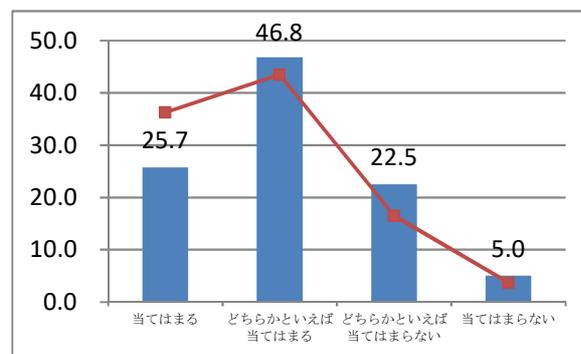


家では自分で計画を立てて勉強をしていますか

3

健康的で規則正しい生活を送りましょう。

活力あふれる一日を過ごすためには、健康的で規則正しい生活が不可欠です。オンラインゲーム等に夢中になりすぎないように、十分な睡眠時間をとりましょう。

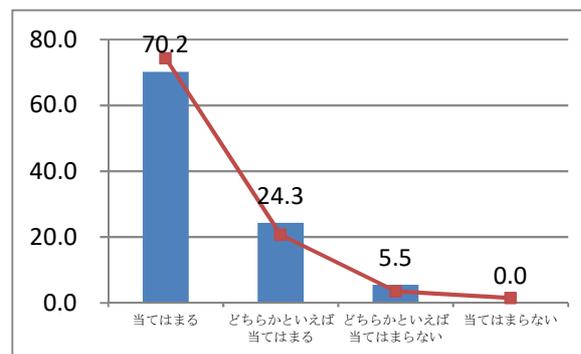


毎日、同じ時刻に寝ていますか

4

地域や社会に貢献できるように心がけましょう。

お互いに支え合い、助け合うことで社会は成り立っています。まずは、スモールコミュニティである「地域」のボランティア活動などに積極的に参加しましょう。



人の役に立つ人間になりたいと思いますか

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

